



ごあいさつ
Greeting



春日井市長 伊藤 太

今日は、師走のご多忙のなか、「2015春日井市民第九演奏会」へご来場いただき、誠にありがとうございます。

本年も春日井市民第九合唱団、春日井市交響楽団をはじめとする関係の皆様方のご尽力により、この演奏会が開催できますことを、誠に喜ばしく思います。

管弦楽から合唱まで市民による手作りの演奏会として親しまれておりますこの第九演奏会も、今回で23回目を迎えました。

このように長きにわたり開催できましたことは、出演者の皆様の熱のこもった演奏が幅広い世代の方々のご支持を得ているとともに、市民参加の演奏会として定着し、親しまれている証であると考えています。

指揮者には昨年に引き続き、国内外で活躍されている井村誠貴氏を、ソリストには各方面で活躍されている実力派の方々をお迎えし、ご来場の皆様に迫力と感動の演奏会をお届けできると期待しております。

それでは、「第九」の調べとともに「歓び」に満ちた時間を存分にご堪能ください。

2015春日井市民第九演奏会実行委員会会長

中部大学長 山下 興亜

恒例となりました春日井市民第九演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

回を重ね、毎年このように盛大に春日井市民第九演奏会を開催することができますのも、多くの皆様のあたたかいご支援・ご尽力があつてのことと、心より感謝申し上げます。

音楽監督・指揮者 井村誠貴さんの牽引力により、本日の演奏会に向け、春日井市民第九合唱団・春日井市交響楽団の団員達は、心をひとつに練習を重ねてまいりました。日頃の練習の成果を余すことなく発揮してくれるものと確信しております。また、今年も愛知県に縁のある、今がまさに旬の若き4人のソリストにご出演いただき、躍動感溢れる美声で演奏会をさらに盛り上げていただきます。第九の演奏に加えて、今回は、源田俊一郎編曲『ふるさとの四季』より、思わず口ずさんでしまうような皆様おなじみの名曲「故郷」「春の小川」「夏は来ぬ」「紅葉」「雪」の演奏もお届けします。

音楽は私たちの心を豊かにし、暮らしに彩りを与えてくれます。皆様と共に歌い、奏で、楽しむ春日井市民第九演奏会は今後も「文化でつながるまち・春日井」の発展に貢献してまいります。今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

年の瀬迫る忙しい時期ではございますが、本日はどうぞ、最後までごゆっくりお楽しみください。

2015春日井市民第九演奏会

音楽監督・指揮者 井村 誠貴

《魅了し続ける「春日井第九」》

「春日井第九」はなぜ人を魅了し続けるのであろうか？4年目を迎えた私との「春日井第九」。指揮者にとって4年も継続して一つの作品を追求できる事はこの上ない喜びである。よく「同じ第九を同じ団体と繰り返し演奏して、飽きないのか？」と聞かれるのだが、私はいつもこう答える。

「演奏するもの同士が、回を重ねていくごとに理解を深め、より良い音楽が創造されていく」。そして答えはさらにこう続く。「何よりも演奏のレベルを高めるものは、人と人が理解し合い大切な仲間になっていくこと。音楽をする前に、一人の人間として、信頼や絆を深める事こそが、より良い演奏へと導いてくれる」。それこそが今も「春日井第九」が愛され魅了し続けられる原点ではないだろうか。それを裏付ける様に「春日井第九」は毎年進化し続けている。だからこそ「今年の春日井第九はどんな演奏になるのだろうか？」というお客様が年々増え続けているのだ。ベートーヴェンとシラーによって創造された奇跡のシンフォニー！そして春日井が育ててきた人と人の絆を貴方も一緒に体感してみませんか！？



プログラム
Program

源田 俊一郎 編曲

『ふるさとの四季』より「故郷」「春の小川」「夏は来ぬ」「紅葉」「雪」

ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン 作曲
LUDWIG VAN BEETHOVEN (1770-1827)

交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

Symphony No. 9 in D minor op.125 "Choral"

第1楽章 アレグロ マノン トロppo エ ウン ポコ マエストーソ
1st mov. Allegro ma non troppo e un poco maestoso

第2楽章 モルト ヴィヴァーチェープレスト
2nd mov. Molto vivace - Presto

第3楽章 アダージョ モルト エ カンタービレ アンダンテ モデラート
3rd mov. Adagio molto e cantabile - Andante moderato

第4楽章 フィナーレ：プレストーアレグロ アッサイーレシタティーヴォーアレグロ アッサイ
4th mov. Finale: Presto - Allegro assai - Rezitativo - Allegro assai



オーケストラ 春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれた「市民が演奏し、市民が聴く」春日井市民のオーケストラです。1990年(平成2年)11月に創立され、市内の音楽愛好家を中心に活動しています。団員は、会社員・公務員・教員・自営業者・主婦・学生など様々な職業をもった人からなる約50名で、毎年7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、オーケストラ活動を行っています。「春日井で名曲の演奏を」と心がけ、日々、音楽と向き合い練習を重ねています。

井村誠貴先生に第九の指揮をお願いして、今年で4年目。団員一同、井村先生の情熱溢れる指揮のもと、ひとつひとつの音に魂を込めて演奏します。本日も来場の皆さまに音楽を聴く喜びを感じていただければ、私たちにとってこれほど嬉しいことはありません。

今後も、春日井市交響楽団にあたたかいご支援をお願い致します。

(団長 稲垣 徹)



合唱 春日井市民第九合唱団

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために一般市民より編成された合唱団です。平成5年、春日井市市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を機に結成され、今年で23回目の演奏会を迎えています。毎年公募による新しい団員を含め、総勢250名になろうかという大合唱団です。

平均年齢は60歳を超えてやや高いのですが、中部大学混声合唱団の皆さんの若い力の応援をいただき、元気に第九を歌っております。7月に市長の出席を仰いで結団式を行い、毎週土曜日、松下伸也先生の優しく丁寧な、また、時にはユーモアを交えた指導のもと、一生懸命練習に励んでおります。慣れないドイツ語の発音に苦勞しておりますが、第九のテーマである「人類みな兄弟」という欲びを我々自身も感じながら、演奏会において下さる皆様方に、少しでもその精神を感じていただこうと精一杯歌います。今年は、第九の前に源田俊一郎編曲による唱歌メドレー『ふるさとの四季』より、「故郷」「春の小川」「夏は来ぬ」「紅葉」「雪」を演奏致します。どうぞご期待下さい。

(団長 須藤 章夫)



指揮 井村 誠貴 Masaki Imura

1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多数の公演に携わり高く評価された。オペラレパートリーも50演目を超え、主要作品の他、オペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜歌劇楽友協会におけるJ.シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年イタリアに留学。現地ではAs.Li.Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。また、2013年には年間オペラ公演回数が日本人で第1位(昭和音楽大学調べ)に入るなどオペラ指揮者としての地位を確立している。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団

を中心にコンサートを定期的に行う一方、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団等を客演。また、岐阜県交響楽団、春日井市交響楽団、大阪市民管弦楽団等の定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらにOsaka Shion Wind Orchestra、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。さらに、ミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オ・フォール」(市村正親)を皮切りに、「マイ・フェア・レディ」(大地真央)、「レ・ミゼラブル」(山口祐一郎)、「ペテン師と詐欺師」(鹿賀丈史)、「The Musical AIDA」(安蘭けい)、「キャバレー」(藤原紀香)のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美やダ・カーポ、佐々木秀実、夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。また、「浪速のモーツァルト:キダ・タロー」の作品の編曲も手掛け、キダ・タローとのコンサートも好評を博している。その活動の幅は指揮活動だけでなく、オペラ演出、企画構成、さらには編曲者としての活動も著しくマルチな才能を発揮。2010年には京都フィルハーモニー室内合奏団、湖笛の会(フルート・オーケストラ)と共に韓国光州国際音楽祭に招待され、世界的フルート奏者フィリップ・ピエルロ氏らと共演。2011年には、「岐阜3000人の第九」を成功に導くなど、多方面で大きな役割を担っている。2014年には、自身の企画により「ベートーヴェン振るマラソン」と題して、一日でベートーヴェンの全交響曲9曲を一人で指揮。そのギネス級の活動は大きな話題となった。また、2011年東日本大震災を受け、毎年チャリティコンサートを開催。5回の演奏会で3300万円を超える義援金を被災地に届けた。クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。指揮を、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMFI指揮者。関西音楽人のちから『集』代表。2012年より春日井市民第九演奏会音楽監督。



ソプラノ 奥村 育子 Ikuko Okumura

名古屋市出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学院を首席で修了。2012年第4回東京国際声楽コンクール オペレッタ部門 第3位、第13回大阪国際音楽コンクール 歌曲コース大学の部 第3位(最高位)。2013年第67回全日本学生音楽コンクール 声楽部門大学の部 全国大会 第2位。2015年第7回岐阜国際音楽祭コンクール 声楽部門一般I 第1位、岐阜市長賞、審査員特別賞、文化人特別賞受賞。オペラ「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、「こどもと魔法」炎、リス、「フィガロの結婚」花娘、「カルメン」フラスキータ(ハイライト)、オペレッタ「こもり」イーダ、ミュージカル「ライト・イン・ザ・ピアッツァ」クララ役で出演。J.S.バッハ「ロ短調ミサ」、ベートーヴェン「交響曲第九番」ソプラノソリストとして出演。2014年、ミッドランド7周年記念コンサート「名フィル春の便り2014」にて、名古屋フィルハーモニー交響楽団にソリストとして迎えられ共演。2012年度中村桃子賞、2012年度、2013年度優秀学生賞受賞。第22回丹羽奨励生(大幸財団)。これまでに水野麻美、末吉利行の各氏に師事。



アルト 大田 亮子 Akiko Ohta

名古屋音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同大学院音楽研究科声楽専攻修了。共に首席修了。特待生奨学金を授与される。2004年よりミラノに留学し、国際声楽アカデミー「A.マントヴァーニ」にてディプロマを取得。「カヴァレリア・アルスティカーナ」サントウツァ役でデビュー。往年のプリマドンナ「M.オリヴェーロ女史102歳記念コンサート」にてL.ヌッチ氏と共に出演し、好評を得る。ヘンデル「メサイア」、メンデルスゾーン「エリア」、ベートーヴェン「第九」、ブラームス「アルト・アブソディ」、ヴェルディ「レクイエム」等、ソリストとして多くの合唱団、オーケストラと共演。第56回全日本学生音楽コンクール声楽部門名古屋大会大学・一般の部第1位。第40・42回イタリア声楽コンクールソシエタ部門ファイナリスト。第150回日本演奏連盟推薦新人演奏会のオーディションに合格し、名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。2014年に帰国し、後進の指導、合唱指導にも力を注いでいる。現在、名古屋音楽大学講師、名古屋市文化振興事業団芸術文化活動アドバイザー。



テノール 大久保 亮 Ryo Ohkubo

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学院首席修了。これまでに声楽を二宮咲子、近藤恵子、松下雅人、二神二期、畑儀文の各氏に師事。オペラでは「カルメン」「こもり」「ヘンゼルとグレーテル」「こどもと魔法」「セルセ」「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「フィデリオ」に出演。宗教曲では、ジャンジル「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、バッハ「マニフィカト」「復活祭オラトリオ」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「交響曲第九番」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」にテノールソロとして出演。また、バッハの受難曲、ミサ曲では小林道夫氏による指導を受け、氏の指揮する「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」でエヴァンゲリストを、松本バッハ祝祭アンサンブル演奏会「ミサ曲口短調」でテノールソロを歌っている。



バリトン 松下 伸也 Shinya Matsushita

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院修了。モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」(グリエルモ)でデビュー後、名古屋二期会、名古屋オペラ協会等で「秘密の結婚」(ロビンソン伯爵)、「フィガロの結婚」(フィガロ、アルマヴィーヴァ伯爵、アントーニオ)、「カルメン」(エスカミーリョ、ダンカイロ、ズニガ、モラレス)、「こもり」(ファルケ、フランク)、「椿姫」(ジェルモン)等のオペラ、オペレッタに出演の他、新作初演オペラ公演にも多数携わり、キャスト、合唱指導、制作にも参加し高い評価を得た。コンサートソリストとして「クリスマス物語」「メサイア」「第九」「レクイエム(モーツァルト)」「ミサ曲(モーツァルト、シューベルト)」「エリア」に出演する。近年、ドイツリートをライフワークとしてシューベルト、シューマン、ブラームス等の作品の演奏活動を繰り返している。その他、サロンコンサート、障がい児対象のお喋り付きコンサートも開催し、クラシック音楽のすそ野を広げるべく活動を行っている。これまでに声楽を藤井京子、福島明也、末吉利行、矢田部義弘、ドイツリート解釈・演奏法をチャールズ・スペンサー、日本歌曲における詩の解釈・演奏法を塚田佳男の各氏に師事する。現在、名古屋芸術大学、愛知淑徳大学各非常勤講師。



客演コンサートミストレス 鳥居 愛子 Aiko Torii

愛知県立芸術大学音楽学部卒業。第一回全日本演奏家協会推薦コンサートに出演。第五回日本クラシック音楽コンクール一般の部入選。名古屋室内アンサンブル定期演奏会でモーツァルトのヴァイオリン協奏曲を共演。シューベルト生誕200年記念演奏会で、スロヴァキア・フィルハーモニック・ゾリステンとシューベルトの小協奏曲を共演。フジタヘルスユニバーシティオーケストラの定期演奏会でメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を共演。愛知万博では、スーパーワールドオーケストラのメンバーとして開会式に出演。その後、ジャパンツアーに参加。



合唱指導 松下 伸也 Shinya Matsushita

愛知県立芸術大学大学院在学時より合唱指導を開始する。自身の声楽家としての経験を活かし、熱心で分かりやすく、最後まで団員を信頼する指導法が高く評価されている。レパートリーは、シュッツ等の初期バロックから、メサイア、第九等に代表されるオーケストラ、ソリスト付き合唱曲、現代の邦人作曲家に至るまで幅広い。第九合唱指導については瀬戸第九合唱団、愛環音楽連盟、西尾市市制50周年記念行事、垂井町(岐阜県)等の団体に招聘され指導している。現在、春日井市民第九合唱団、陵水男声合唱団、アンサンブル瑠璃、各指導者。名古屋市立大学混声合唱団発声指導者。

オーケストラ合奏指導	池田 逸雄	石橋 隆弘	石橋 玲子
合唱団発声指導	西畑 佳澄	成田 七香	
ピアノ伴奏	竹内 理恵	松永 祐未子	定免 唯奈 今村 洋平

みんなで歌おう、春日井賛歌を……

< 歓喜の歌 >

作詞●なかにし礼

1. あいこそかんきにみち
びくひーかさえぎる
くなんをこえてすすーま
んかんきのいたーだき
ふみーしめたとときわーれ
らはきょうだーいせかいはひーと
つかんきのいたーだきふみー
しめたとときわーれらはきょう
だーいせかいはひーとつ

1. 愛こそ歓喜にみちびく光
さえぎる苦難を越えて進まん
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ

2. 気け高たかき乙女を勝ち得たものよ
手を取り歓呼の叫びをあげよ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ